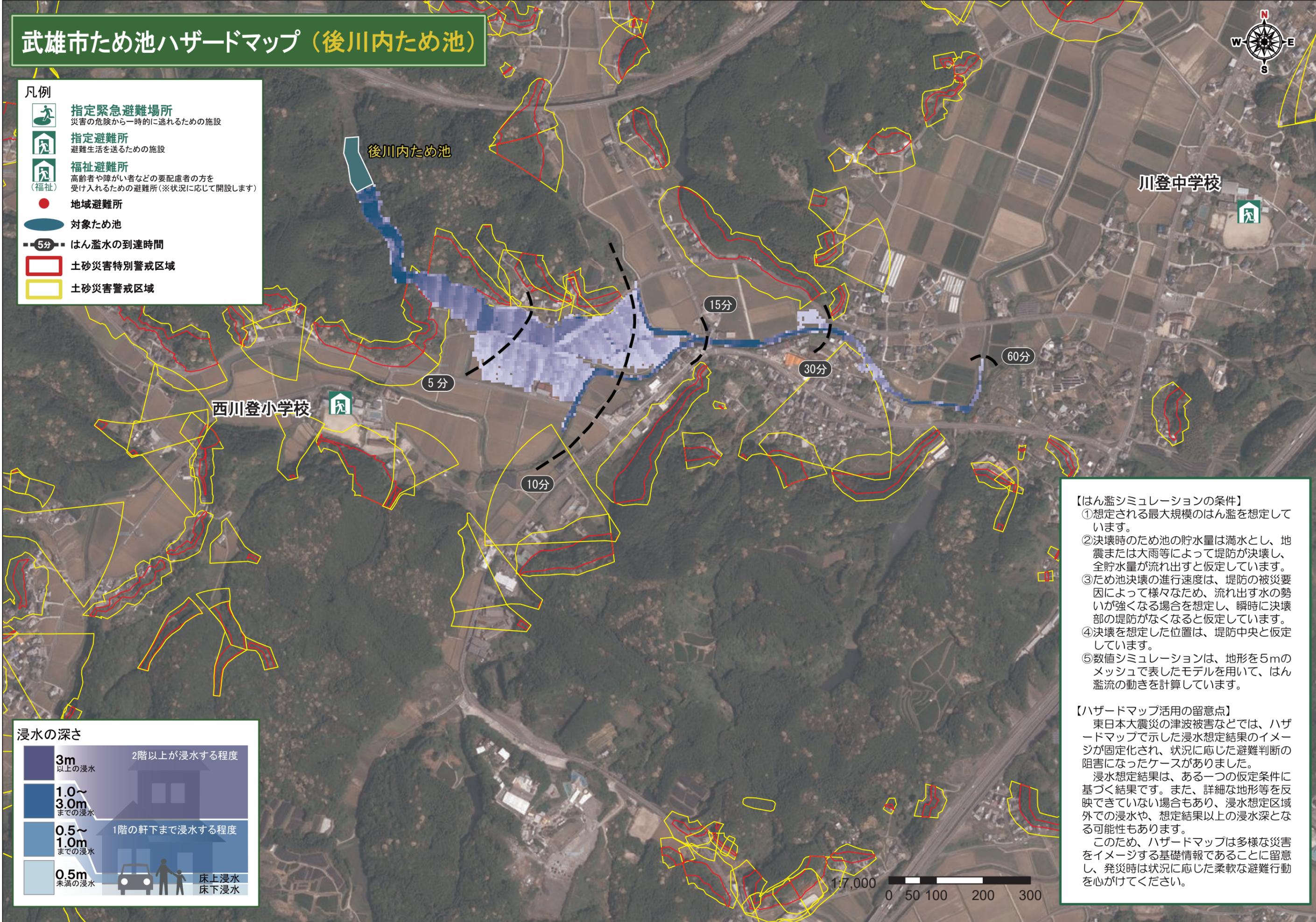


# 武雄市ため池ハザードマップ（後川内ため池）



**凡例**

-  **指定緊急避難場所**  
災害の危険から一時的に逃れるための施設
-  **指定避難所**  
避難生活を送るための施設
-  **福祉避難所**  
(福祉) 高齢者や障がい者などの要配慮者の方を受け入れるための避難所(※状況に応じて開設します)
-  **地域避難所**
-  **対象ため池**
-  **5分** はん濫水の到達時間
-  **土砂災害特別警戒区域**
-  **土砂災害警戒区域**



**浸水の深さ**

	<b>3m</b> 以上の浸水	2階以上が浸水する程度
	<b>1.0~3.0m</b> までの浸水	
	<b>0.5~1.0m</b> までの浸水	1階の軒下まで浸水する程度
	<b>0.5m</b> 未満の浸水	床上浸水 床下浸水

**【はん濫シミュレーションの条件】**

- ①想定される最大規模のはん濫を想定しています。
- ②決壊時のため池の貯水量は満水とし、地震または大雨等によって堤防が決壊し、全貯水量が流れ出すと仮定しています。
- ③ため池決壊の進行速度は、堤防の被災要因によって様々なため、流れ出す水の勢いが強くなる場合を想定し、瞬時に決壊部の堤防がなくなると仮定しています。
- ④決壊を想定した位置は、堤防中央と仮定しています。
- ⑤数値シミュレーションは、地形を5mのメッシュで表したモデルを用いて、はん濫流の動きを計算しています。

**【ハザードマップ活用の留意点】**

東日本大震災の津波被害などでは、ハザードマップで示した浸水想定結果のイメージが固定化され、状況に応じた避難判断の阻害になったケースがありました。

浸水想定結果は、ある一つの仮定条件に基づく結果です。また、詳細な地形等を反映できていない場合もあり、浸水想定区域外での浸水や、想定結果以上の浸水深となる可能性もあります。

このため、ハザードマップは多様な災害をイメージする基礎情報であることに留意し、発災時は状況に応じた柔軟な避難行動を心がけてください。